

グループ・ダイナミクス

選 択

開講年次：2年次前期

科目区分：演 習

単 位：1 単位

講義時間：30 時間

■**科目のねらい**：個人の積み重ねが社会を作る。社会を構成する集団と集団を構成する個人について、グループ・ダイナミクス（集団力学）という視点から検討する。人は一人でいる時と集団でいる時とでは、行動が変わる。また、いかなる職業に就こうとも人は互いに影響を与え、行動を変化させながら生きていく。そして、集団では様々な力が作用している。他者や集団の影響について学び、日常生活におけるさまざまなグループ・ダイナミクスの影響を理解する。また、具体的な社会問題についてグループ・ダイナミクスの観点から検討する。

■**到達目標**：①授業で得られた知識を十分に理解する
②授業で得られた知識を日常生活に関連づけられるようになる

■**担当教員**：

山口 司

■**授業計画・内容**：

- 第 1 回 オリエンテーション：グループ・ダイナミクスとは
- 第 2 回 集団の影響：集団とは
- 第 3 回 集団の影響：同調と服従
- 第 4 回 集団の影響：援助行動
- 第 5 回 集団の影響：集団意思決定①
- 第 6 回 集団の影響：集団意思決定②
- 第 7 回 グループ・ダイナミクスの事例：集団の影響と裁判員制度①
- 第 8 回 グループ・ダイナミクスの事例：集団の影響と裁判員制度②
- 第 9 回 グループ・ダイナミクスの事例：グループ・ダイナミクスと災害①
- 第10回 グループ・ダイナミクスの事例：グループ・ダイナミクスと災害②
- 第11回 グループ・ダイナミクスの事例：少子化・未婚化、そして、婚育①
- 第12回 グループ・ダイナミクスの事例：少子化・未婚化、そして、婚育②
- 第13回 コミュニケーション・スキル①
- 第14回 コミュニケーション・スキル②
- 第15回 まとめ

■**教科書**：授業毎にハンドアウトを配布する。

■**参考文献**：「社会と向き合う心理学」サトウタツヤ・若林宏輔・木戸彩恵（編）新曜社 2,800円
「グループ・ダイナミクス」釘原直樹 有斐閣 2,000円
「人とのつながりどころ」今川民雄・山口司・渡辺舞 ナカニシヤ出版 2,200円

■**成績評価基準と方法**：レポート課題100%で評価する。2/3以上の出席を単位認定の条件とする。

評価方法	到達目標		評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②		
レポート課題	◎	◎	授業の知識を用いてのレポート作成	100
出席			2/3以上の出席	欠格条件

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：人間に対する理解の科目、コミュニケーションに関する科目

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：グループ・ダイナミクスとは、社会的な問題に積極的に関わってこころを心理学の一分野です。各回毎にテーマを決め、それについて講義と討議をしていきたいと思っております。心理学に興味のある人は、是非受講して下さい。